

宮の里地域コミュニティ交通運営協議会について

2025年6月30日

合同会社ロコムテック

代表社員 岩崎正昭

1. 目的

宮の里地域コミュニティ交通に係る全てについて、地域住民の便宜を考えて、協議して実行する。

2. 活動内容の説明

導入手引きで説明

- 説明の途中で質問を受ける時間を設けます。
- コース試案の提案。

3. その他

<https://locomtec.jp>

導入手引き①②③④⑤⑥

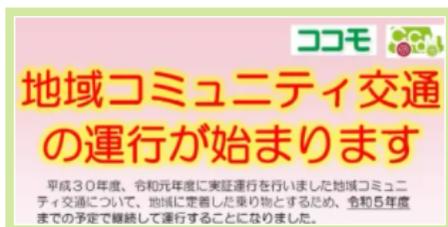
① 運営協議会の設立



地域のニーズをくみ取りココモを運営する組織を作る。要員は3名程度から始める。

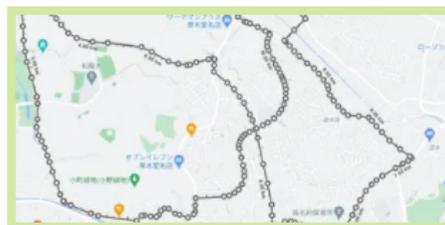
1. 代表（運営管理、運行管理、厚木市への報告等が主な仕事です。
要パソコン、スマホ知識）
2. 主任助手1名
3. 補助助手1名（主任助手の補助）

④ パンフレットを全住民に配布



厚木市都市計画課と協議して試験運行の期間及び予算が確定したところでパンフレットをさ作成して地域住民に、詳しく伝える。

② 地域の意見を集約して、コースの試案を作成する。



運行ルートの作成ポイント

1. コースは10km前後にまとめる
(ほぼ30分の運行時間がちょうどいい)
2. 高齢者（70台前後）の利用が多く、目的は買い物と通院なので、地域のそれらの施設を含むルートにする。
3. Google Mapでコースの距離を測りながら決める。

⑤ ココモは地域コミュニティ醸成の空間



ココモは移動手段でもありますが、毎日集まる車内はコミュニティを醸成する空間でもあります。ここで重要な役割をするのが主任助手と補助助手です。地域の情報を集約し話題にする話がとぎれない。

③ 地域への広報を兼ねて意見交換会開催



②で作成したコースの試案をもとに、地域の意見を集約する。ここで意見がまとまれば試験運行が開始できる。

ポイントは地域の生活で必要としている施設がコースに含まれているか吟味する。

厚木市都市計画課と車両運行の相談を行う。

⑥ 運用管理（乗車カード業務記録等）



- a.初めての利用者にはココモ乗車カードを発行
- b.発行時にアンケート用紙に記入依頼
- c.乗降時にココモ乗車カードで乗降確認
- d.1便ごとに業務記録と社内除菌作業

① 運営協議会の設立

1. 組織（代表1名）

ココモは地域住民の組織が運営しますので地区名を冠した運営協議会を設立します。

代表は運営管理、運行管理、予算管理、厚木市への報告等の業務を行いますので、スキルとしてパソコン及びスマホが扱える事（場合によってはそれを補助する要員）が求められます。

・費用

厚木市が車両と運営費用を補助しますので設立のための資金は必要ありません。

補助する費用は(a)車両費（運転手の費用を含む）、(b)運営管理及び運行管理棟の費用、(c)助手の費用です。

期末（毎年3月末）に補助金の利用実績を報告します。余剰金は払い戻しを行います。

運営協議会が管理する費用

(b) 運営管理及び運行管理等の費用（日額1,500円）、

(c) 助手の費用（日額3,000円）です。そのほか消耗品も別途補助されます。

日額は運行日に対する費用です。月8回の運行なら日額は8日で計算します。

・口座開設

代表は金融機関に口座を開設して補助金の入出金の管理を行います。

2. 主任助手1名

・業務

顔なじみの助手は安心して利用できる雰囲気を作ります。乗降時のサポートやココモ乗車カードの発行と発行時のアンケート及び業務記録の作業が主業務です。

3. 補助助手1名

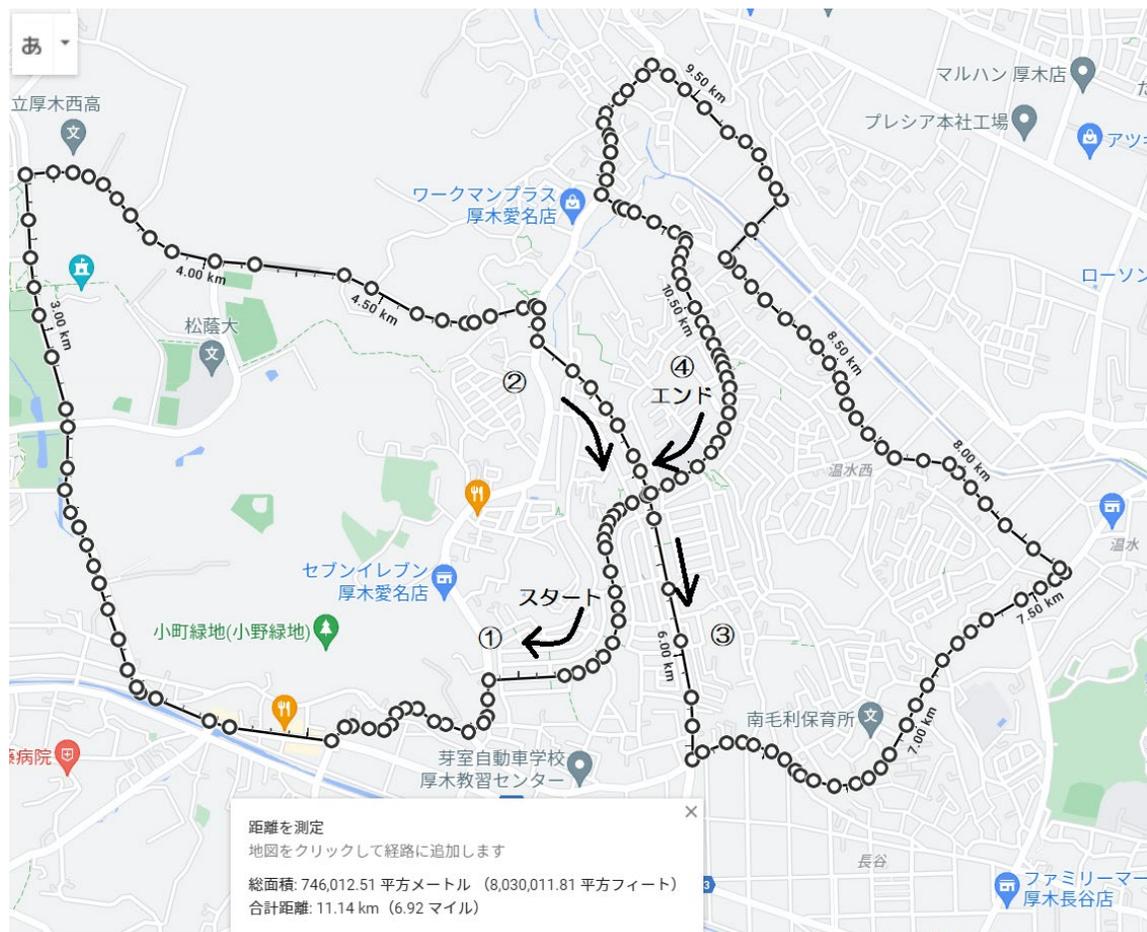
・業務

主任助手が業務につけない場合の補助を行います。業務内容は主任助手と同じです。

② 地域の意見を集約して、コース試案を作成

運行ルートの作成ポイント

1. コースは10km前後にまとめる。(経験的に乗降を考慮すると運行時間が30分に収まる距離です)
事例は団地のケースで定時定路線(路線バスと同じ)方式です。住居が分散している場合はこのようにはなりません、別方式になります。
2. 利用者の多くは高齢者【70歳前後】です。利用目的は買い物と通院が主ですので、地域のそれらの施設を含むルートにします。
地域にあるスーパー、ドラッグストア、病院、郵便局、銀行、スポーツセンター等です。
3. Google Mapで「距離を測る」を選択して、地図上の想定したコース内をトレースして10km前後になるようにします。



この事例はコースの真ん中×部分から出発して、①②と周回して×(出発点)に戻り、③④へと8の字コースになっています。

理由は①②にスーパー、病院、銀行があり、③④にもスーパー、病院、ドラッグストアがあります。
利用者がお好みの施設を選んで利用できるのが特徴です。

○印は距離を測定したコース上のポイントです。この事例では11.4kmになりました。

① ②は例えばAコース
③ ④はBコースでどちらかのコースだけ利用する場合、乗車時間はほぼ半分になります。



みはる野 MIHARUNO

中荻野 NAKAOGINO

宮の里 MIYANOSATO

中荻野 NAKAOGINO

厚木国際カントリー倶楽部

飯山温泉

全距離 7.0 基点

稲荷神社 百佐藤稲荷神社

精華園 AED

クマノ AED

登利園

泉入口

人憩の家

金剛寺

飯盛山

まつかけ台入口

下清田谷橋

紅梅学園

流谷橋

特養ホームけいわ荘

宮の里ためきの森緑地

さぎさか公園

宮の里センター

宮の里児童館

宮の里ハイム

日枝神社

宮の里入口

飯盛山

古民家岸邸

荻野久保老人憩の家

荻野尾崎

宮本老人憩の家

荻野児童館

荻野神社

荻野運動公園

宮の里東

宮の里4

宮の里1

飯山

東谷戸入口

みはる野入口

荻野中前

荻野小

荻野運動公園

調整池

荻野中入口

荻野中

荻野神社入口

荻野運動公園

みはる野中央

荻野中

荻野中

荻野神社入口

荻野運動公園

上荻野

展望台



(株)美翔運送

熊野神社



3丁目

青史塾



4丁目

Aking-glass工房
(アキングガラス)



グリーンタウン宮の里1



宮の里

2丁目

さぎさか公園



ごはんCafe OKI



(有)マルフジ



1丁目

宮の里公園



Google

神社



市営宮の里ハイツ



尼寺の道祖神



③ 地域への広報を兼ねて意見交換会を開催

1. ②で作成したコース試案に各施設名を入れて、意見交換会の案内を出します。

例えば

Aコース 亀田森の里病院、ぐるっと広場、横浜銀行、森の里公民館、スーパー三和、和ごはん倶楽部
黒沼そば、玉川グリーンホーム、夢庵、バーミアン、石垣整形外科病院

Bコース おぎのパン、ケーキハウスしあわせの丘、ヨークフーズ南毛利店、落合病院、吉岡動物病院
ぬるみず幼稚園、クリエイト厚木飯山店、セブンイレブン厚木飯山南店、ローソン愛名店

2. コース撮影

コースを実際周回して動画を撮影して、バスの時刻表を作成します。

また、1日の便数も決めます。

一回の利用料金は100円です。次の便に無料で乗り継ぐこともできます。

④ パンフレットを全住民に配布

1. 意見交換会や住民の意見を集約してコースが決まるとパンフレットを作成することができます。
2. パンフレットを全住民に配布して周知をしますが、口コミで必要と思われる人も誘います。
体験会は開催するのも周知をする良い方法です。

⑤ ココモは地域コミュニティ醸成の空間

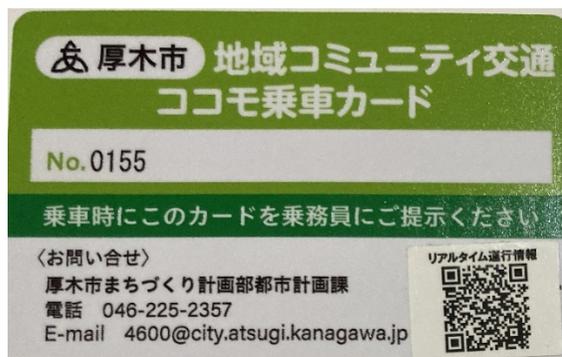
1. 主任助手や補助助手の活躍で利用者数を増やします。
2. 車内は良いコミュニケーションの場になります。

⑥ 運用管理（乗車カード・教務記録）

1. 最初の乗車時に乗車カードを発行します。



乗車カード（表）



乗車カード（裏）

乗降時にこのカードを搭乗口にセットされているセンサーにタッチします。同時に料金100円を集金箱に投入します。

2. 乗車カード発行と同時にアンケートの記入をお願いします。

1. 氏名 記入チェック
2. 性別 記入チェック
3. 年齢 記入チェック
4. 住所 記入チェック
5. 連絡先 自由記入（空白OK）
6. 自家用車の運転 記入チェック
7. 主な利用目的等 記入チェック

アンケート用紙は保存して月末厚木市担当者に届ける。

2021年 月 日			
ココモ乗車登録書 カードNo. 185			
1	氏名		
2	性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 答えたくない
3	年齢	才	
4	住所		
	厚木市	丁目	番 号
		番地	
	(厚木市以外の場合)		
	市・町	丁目	番 号
	・村	番地	
5	連絡先電話番号（又はe-mail アドレス）		
6	自家用車の運転		
	<input type="checkbox"/> している		
	<input type="checkbox"/> していない		
7	主な利用目的・行先（複数回答可）		
	<input type="checkbox"/> 買い物	<input type="checkbox"/> 通院	<input type="checkbox"/> 金融機関
	<input type="checkbox"/> 公民館・自治会館	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター	
	<input type="checkbox"/> 知人宅	<input type="checkbox"/> 最寄りのバス停まで	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）		

3. 業務記録

便毎に記録する。

地域コミュニティ交通「ココモ」 運行助手 業務記録

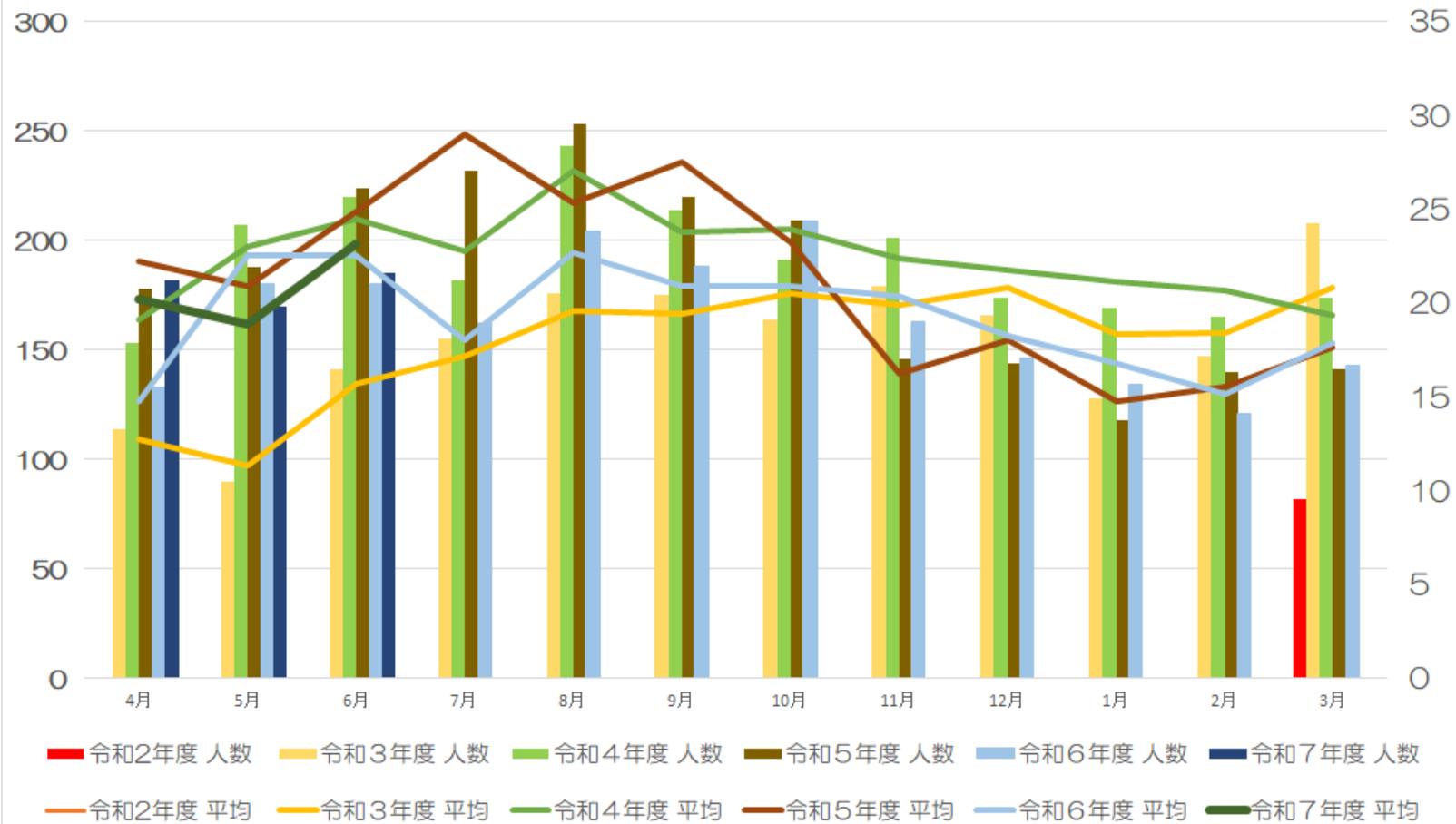
毛利台ルート

令和 年 月分

運行日	天気	業務記録（エピソード、クレーム、気づいた点など）				
運行助手 名前		乗車人数				
		*業務終了後、各便の乗車人数、合計人数を厚木市都市計画課 046-225-2357 まで連絡してください。				
乗継利用者数	新規カード発行枚数	第1便	第2便	第3便	第4便	合計
						0

記録は月末まで保存して厚木市担当者に届けます。

ココモ利用推移



2025年06月ココモ利用者推移

